

女性部ニュース

08. 9. 26

NO・376

東京清掃労働組合

女性部

女性部大会第37回定期大会に参加 しましょう！10/ 9(木) 4時s kﾌﾗｻﾞ5階

女性部運動方針(案)を同封します。大会
で清掃で女性がもっと働きやすくなるように
討論しましょう。参加者名を東京清掃本部ま
でFAXしてください。

FAX番号 3237-4541

交流会にも参加を

6時頃から 一組2階 「春花秋灯」で
交流会を行ないます。大会には仕事の都合で
参加できない方も、交流会だけでも参加して
ください。電話 3515-6231

女性部執行委員が決まりました！

綱川恵子さん(江戸川工場)

長尾由美子さん(新宿)

坂東喜久恵さん(一組・本庁)

戸枝晶子さん(千代田)

告示 9月18日

締切 9月25日

※ 定数内なので無投票当選確定

女性部選挙運営委員会

第21回東京国際女性映画祭

第21回東京国際女性映画祭の券あげます。10月19日から22日までウィメンズプ
ラザです。各回共通券です。家族・友人とどうぞ。毎年この映画祭を応援している自治労
都本部の要請で、東京清掃本部・女性部が券を購入しています。作品上映時間などは裏面
を見てください。(無料)

東京女性映画祭の券申し込みます。

支部名

氏 名

必要枚数

申し込み先 千代田清掃事務所 戸枝

FAX番号 3251-4627

10月19日 (日)	12:00		18:00
	★ 嗚呼 満蒙開拓団 羽田澄子	14:30～ シンポジウム〈満州とは〉 *どなたでもご参加いただけます (入場無料)	[音声ガイド付き、日本語字幕付き上映] 西の魔女が死んだ 長崎俊一
川喜多かしこ 生誕100年 記念上映 10月20日 (月)	12:00		18:00
	制服の処女 レオンティーネ・ザガン	14:00～ 記者会見 *どなたでもご参加いただけます (入場無料)	ねむの木の詩が きこえる 宮城まり子
10月21日 (火)	12:00		18:00
	[招待作品] 私たちの 生涯最高の瞬間 イム・スルレ	15:00 シリアの花嫁 エラン・リクリス	Take My Eyes (英題) イシアル・ボリャン
10月22日 (水)	12:00		18:00
	子供の情景 ハナ・マフマルバフ	15:00 ブラジルから来たおじいちゃん 栗原奈名子 ファット・チャンス 関口祐加	東京ウィメンズプラザ 渋谷区神宮前 5-53-67 電話 03-5467-1711(代)

*「西の魔女が死んだ」は日本語字幕とともに音声ガイドをプリントに直接焼き付けています。
お客さま全員に音声ガイドが聞こえますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



嗚呼 満蒙開拓団

中国東北部の方正県に、日本の敗戦の混乱下で亡くなった多くの開拓民の公墓がある。それは中国の故・周恩来総理の指示で建てられた…。日本の近現代史を考え、日中関係を考える、羽田澄子監督の最新ドキュメンタリー。

(日本/2008年/120分)



シリアの花嫁

古くからゴラン高原に住むある家族の、結婚式の日。複雑な中東情勢がもたらす「国境」の不条理と抑圧的なコミュニティに向けた花嫁の姉の視点を、イスラエルの男性監督エラン・リクリスがみごとな演出で描いた作品。

(フランス・ドイツ・イスラエル/2004年/97分)

シンポジウム〈満州とは〉

パネリスト: 藤原作弥(ジャーナリスト)、羽田澄子、高野悦子。



西の魔女が死んだ

梨木香歩のロングセラー小説を、長崎俊一監督が映画化。周囲にあわせているだけの学校生活に疲れた少女が、自然の営みに寄り添うおばあちゃんとの出会い、暮らしのなかで喜びや楽しさを再発見し、生きてゆく力を取り戻す。

(日本/2008年/115分)



Take My Eyes (英題)

夫の暴力に苦しみながら、女性にはなぜ、そんな男と何度もやりなおそうとするのか。愛を訴えながら妻を殴る男とは、何者なのか。古都トレドを舞台にして、女優でもあるイシアル・ボリャン監督が配偶者虐待問題の内側に分け入った作品。

(スペイン/2003年/109分)



私たちの生涯最高の瞬間

ハンドボールの元名選手たちがアテネ五輪の代表チームに復帰。チームは軌跡を乗り越え、やがて心をつなげてメダルをめざす。実話を映画化した、イム・スルレ監督の熱いスポーツドラマ。出演はムン・ソリ、キム・ジョンウンほか。

(韓国/2007年/124分)



子供の情景

学校に遇って字の勉強をしたい、本を読みたいと願う幼い少女。19歳の監督ハナ・マフマルバフが、タリバンに破壊されたアフガニスタン・バミヤンの磨崖仏をモチーフに、そこに住む子供たちの現実を描く長編劇映画の第1作。

(イラン/2007年/81分)



ねむの木の詩がきこえる

女優・宮城まり子が障害児の療養施設「ねむの木学園」を開設して40年。その歴史のなかで生まれた数々の監督作品中の第2作であり、ある自閉症児が少しずつ心を開いていく過程を中心に、学園の日常生活をつづった映像詩。

(日本/1977年/95分)



ブラジルから来たおじいちゃん

サンパウロ在住の移民一世が、かつての故郷を重ねて、日本に出嫁ぎに来ている若いブラジル人を励まそうと各地に訪ね歩く。90歳を超えてなお希望を語るおじいちゃんの生き方を追った、栗原奈名子監督のドキュメンタリー。

(日本/2008年/59分)

会場：東京ウィメンズプラザ